



日田の今が見える、日田のこれからが見えてくる

市議会だより



本城かかしまつり (天瀬町)

もくじ

- 第3回定例会で審議した議案とその結果
…2～3ページ
- 各委員会の議案等の審査結果
…12～13ページ
- 市政に反映、皆さんの声
(一般質問) …3～11ページ
- 意見書・人事案件・公職選挙法に関するQ&A
…14ページ

平成25年第3回(9月)定例会 9/4～9/25 22日間

平成25年第3回定例会は、9月4日から会期22日間で開かれました。本定例会では、条例の制定や一部改正、平成25年度一般会計補正予算など、24件の議案について審議を行い、下記のとおり決定しました。

■本定例会で審議した議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第87号	日田市高度総合木材加工団地の貸付けに関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第88号	日田市高度総合木材加工団地専用水道施設条例の制定について	〃
議案第89号	日田市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	継続審査(多数)
議案第90号	日田市分担金徴収条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第91号	日田市行政財産使用料条例の一部改正について	〃
議案第92号	日田市飲用井戸施設条例の一部改正について	〃
議案第93号	日田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	〃
議案第94号	日田市災害対策本部条例の一部改正について	〃
議案第95号	財産の取得について	〃
議案第96号	工事請負契約の締結について	〃
議案第97号	平成25年度日田市一般会計補正予算(第2号)	〃
議案第98号	平成25年度日田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第99号	日田市一般職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第100号	日田市特別職等の職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第101号	日田市教育委員会委員の任命について	原案同意(全会一致)
議案第102号	人権擁護委員の推薦について	〃
議員提出議案第2号	日田市議会決算審査特別委員会の設置について	原案可決(全会一致)
議員提出議案第3号	日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案否決(賛成少数)
議員提出議案第4号	日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	〃
認定第1号	平成24年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査(全会一致)
認定第2号	平成24年度日田市水道事業会計決算の認定について	〃
請願第4号	「年金支給額2.5%削減中止」へ政府への意見書の提出を求める請願書	不採択(多数)
意見書案第5号	「地方税財源の充実確保」を求める意見書	原案可決(全会一致)
意見書案第6号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」を求める意見書	〃

平成25年第3回定例会 賛否の状況(全会一致以外)

議案番号	議決結果	賛否		会派名、議員名及び賛否の別																					
				市政クラブ					互認会				新世ひた			社民クラブ			日本共産党		公明党				
				樋口文雄	嶋崎健二	中野靖隆	坂本盛男	井上明夫	森山保人	立花正典	田邊徳子	岩見泉哉	財津幹雄	居川太城	赤星仁一郎	石橋邦彦	吉田恒光	飯田茂男	古田京太郎	高瀬剛	溝口千壽	羽野武男	大谷敏彰	日隈知重	権藤清子
議案	議案第89号	継続	12	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第99号	可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第3号	否決	6	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第4号	否決	5	18	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願第4号	不採択	7	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は賛成、「●」は反対(不賛成)、「欠」は欠席を表します。
 ※議長(赤星仁一郎)は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

一般質問

市政に反映 皆さんの声



平成25年第3回定例会では、9月11日、12日、13日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、18人の議員が諸問題について質問しました。

それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

質問 平成24年3月議会で職員の喫煙についての答弁は、マナー向上を検討するとしていたが結果は、**部長** たばこは嗜好品であり、本人の自由な意思で喫煙されるものと考え、禁煙タイム等は設けていない。

質問 一般的事業所では、休憩時間しか喫煙できない。吸わない職員と比べて年間200時間喫煙に要しているという研究結果もある。**部長** そういふ見方もあるが、始業直後の喫煙はやらないなど、上司が喫煙者の状況を把握し、職場全体に不公平感を生まないように、また、市民から批判を受けないようにモラルの改善指導に努める。

質問 市長の描く総合商社とは。**市長** 現在はブランド推進課が担当しているが、具体的機能の構築のために各部署の所管している業務の移行の可能性を検討し、組織形態、業務内容の精査を図り、日田珍珠地域産業振興センターの機

職員の勤務中の喫煙について



財津 幹雄

賛否の主な討論の内容

■議案第89号（反対、賛成討論あり）

指定管理者制度の導入は、民間事業者のノウハウを生かす有効な手段であり、導入を引き延ばすことで行財政改革の後退が懸念されることから継続審査に反対する討論や、今回の改正は文化振興や中心市街地の賑わいに関係するものであり、更なる論議を深めるべきである、また、事業の継続性が懸念されるので拙速な結論を出すべきではない、とのことから継続審査に賛成する討論がなされ、採決の結果、多数をもって継続審査と決定した。

■議案第99号（反対討論あり）

今回の給与引下げは、自治体の自主的財源である地方交付税を削減することによって、国が自治体の給与引下げを強要するという重大なルール違反であり、地域経済に重大な影響を及ぼすとの反対討論が行われたが、本案は、地方交付税算定における給与関係経費の引下げの状況等を考慮したものであることから、採決の結果、多数をもって原案が可決された。

■請願第4号（賛成討論あり）

年金支給額の引下げは、生存権を保障する憲法や、最低保障年金の確立を求める国連勧告に違反するものと考えられることから、請願に賛成する討論が行われたが、年金支給額の削減はすでに決定されており、意見書を提出する効果に疑問があることなどから、採決の結果、賛成少数で不採択となった。

■議員提出議案第3号・第4号（反対討論あり）

特別職等及び一般の職員の給与の特例措置の内容や市の財政状況等を考慮し、議員報酬を削減する議員提出議案が出されたが、議会改革特別委員会等で協議・検討を重ね基本的な方向を決めていくべきである、議員報酬の削減を公務員給与削減に便乗した形で一部の議員の提案で行うべきではない、状況を総合的に把握して日田市議会全体の議論の中で取り組むべきである、議員の意見が統一されておらず時期尚早と判断する、などの反対討論が行われ、採決の結果、賛成少数で否決された。

能強化を図ることにより、総合商社化につなげたい。

質問 そこに移行するには、人材が必要と思う。また、時間的にはどのくらいと考えているのか。

市長 まさに人材の養成が急がれる。10月から始まる雇用創造事業で取り組む。商売は人と人との信頼関係が一番であり、異動のない民間がよい。売れる商品もあり、新商品の開発も進んでいる。時間的には2年以内に移行したい。

質問 この他、昨年の水害からの仮復旧の状況及び復旧工事の状況、出水による仮設道等の流失の手などについて質問した。



立花 正典

小・中学生のインターネットトラブル等について

質問 子どもたちの中に、インターネットが急激に普及したことから、依存症気味の児童生徒の有無やネットトラブルの有無と対策、書き込み等が原因で不登校になった児童生徒がいるか伺いたい。

教育長 ネットに関するアンケートを昨年11月に行い、トラブルが

小学校で24件、中学校で69件あった。対策として掲示板の消去や児童生徒への心のケア、保護者との連携及び警察との連携、臨床心理士等と継続した取組を行っている。

ネットが原因の不登校はいないが、使い過ぎによる無気力な児童生徒は、小学校で4名、中学校で49名が報告されている。今後は学級懇談や学校・保健室通信等を通して保護者に啓発していきたい。

質問 市の財政状況が厳しい中、市の遊休地や学校等の公的施設の屋根を、太陽光発電事業を行う事業者に貸して収入を得てはどうか。

部長 全国の導入事例を参考に関連する部署と連携をして、調査研究を進めたい。

市長 自前での事業は問題があるが、土地を貸すことや売ることが進めていきたい。

質問 庁内活性化や職員のやる気と能力を引き出すために、市職員の昇格人事（抜擢人事等を含む）をどのようにされるか伺いたい。

市長 昇格は、勤務評定の積み重ねや実績、適正を総合的に判断しているもので、年功人事ではない。今後、人事評価制度等の導入に向け取り組み、幹部は内部昇格が基

本で、外部から民間人を採用する考えはない。



溝口 千壽

生活保護基準の見直しと生活困窮者対策

質問 日田市における生活保護の現状と、本年8月から生活保護基準の見直しが実施されたが、その具体的な内容を伺う。

部長 日田市における生活保護の現状は、本年7月1日現在で769世帯、1067名であり、保護率は1・52%である。5年前と比較すると保護人員は約3割増加している。相談件数も年間200件を超えている。

生活保護基準見直しの具体的内容は、生活扶助の基準額が5年に一度、検証が行われ、一般低所得世帯との消費実態に開きがあるため、新たな基準額が設定された。見直しの実施に当たっては、受給者の生活水準が急激に変化するのではないかよう、現行の基準額から減額幅が10%を超えないように調整している。

質問 生活困窮者自立支援法の内

容と日田市での対応はどうなっているのか伺う。

部長 生活困窮者自立支援法は、生活保護に至る前の段階で自立支援の強化を図るもので、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給等の支援を行うものである。この事業は、福祉部門のみでなく、他の関係機関との連携が重要であり、日田市として平成27年4月からの施行に向け、関係機関との調整や研究などを進めている。

質問 自立支援プログラムの実施状況とその効果について伺う。

部長 昨年の就労支援者は、寡婦家庭支援を含め63名で、稼働収入の増加等により、自立した世帯は31世帯である。



松野 勝美

期日前投票の手續について

質問 日田市として投票環境の改善など、投票率の向上に向けた取組も行っていると思うが、期日前投票の状況を伺う。

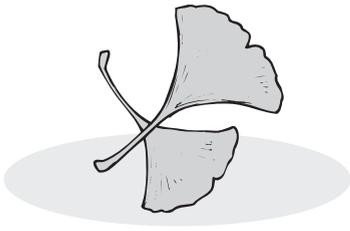
局長 投票者総数に占める期日前投票の割合は、参議院議員通常選

挙で、平成16年7月が4506人で13・65%、平成19年7月が7812人で16・75%、平成22年7月が8819人で22・11%、先に行われた7月の選挙では8658人で25・43%と徐々に増え、浸透していると判断している。

質問 期日前投票は入場券の裏側に名前など書けば、簡単にできる取組を、大分県では行っている所が出てきている。人前で書くのが嫌な方や高齢者の方は、独特の雰囲気の中、心理的に負担を感じるとの声を聞く。日田市も早めの対応ができないか伺う。

局長 期日前宣誓書を入場券の中に刷り込むことでなく、ホームページから前もって宣誓書をA4サイズで打ち出し、自宅で書き、入場券と一緒に出し、期日前投票することを、今後、検討してみたい。

質問 滞納整理システムの成果を



伺う。

部長 処理時間の短縮ができるなど、一般的に大幅な事務の効率化が図られている。

質問 システム導入で、残業時間の削減にはならないのか伺う。

部長 滞納者の対応ということで、5時以降に相談に乗ることは、やむを得ない。

質問 この他、健康増進と医療費抑制について、子どもの安心についてなど質問した。



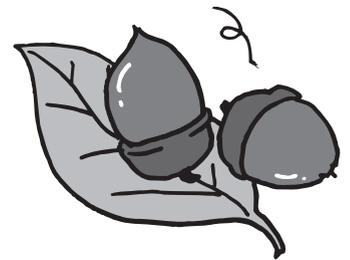
井上 明夫

市職員の給与の削減について

質問 国からの給与削減要請があり、大分県内では各自自治体が8月までに給与の削減を提案、議決したが、日田市の提案は9月になった。県内で最後になったのはなぜか。

市長 国からの給与削減要請はルール違反とも言えるし、地域経済への悪影響も憂慮されるので、時間を掛けて説明し交渉を行った。

質問 市民から見ると、労使交渉がどう進んでいるか分からないので、交渉過程を公表してはどうか。



市長 透明性の確保の面から必要と思う。有効な手段なので組合と協議して検討したい。

質問 市長の公約である総人件費20%カットを達成する目標の時期はいつか。

市長 任期が来る平成27年7月である。

質問 第三セクターが関わる観光施設に対して、平成17年の市町村合併後に、日田市が設備投資した金額はいくらか。

市長 ひびきの郷、鯛生金山、フイッシングパークへの設備投資額は合わせて約3億円である。

質問 ひびきの郷を運営しているおおよま夢工房が、平成24年度に3900万円の赤字を出しているが、どう考えているか。

部長 市の財政も厳しいので、増資や赤字補填は考えていない。

質問 赤字を出している第三セク

ターや、そこが管理する観光施設の今後の運営形態をどう考えるか。

部長 独立企業体として施設ごとに独立する方向で協議している。

質問 この他、自治基本条例、学



大谷 敏彰

体育館等のつり天井崩落対策の取組

質問 小中学校の体育館などのつり天井の崩落対策として、文部科学省は8月に手引を発表した。これを踏まえてどのように対策をとるのか。光岡小体育館の危険度をどう考えるか。

教育次長 光岡小については、対策の緊急度は高いと判断した。国は平成26年度までに点検し、27年度までに対策を完了するよう求めている。つり天井のある体育館は他に10校あり、平成25年度に点検し、優先度を判断した上で、可能な限り早期に対策をとる。

質問 昨年の災害時、花月川の河川を流れた水量はどれだけか。また、現在工事をしている激甚災害対策特別緊急事業では、どれだけ

の水量を流すことができるのか。

部長 昨年の災害時観測点での水量は7月3日が1300トン、14日が1400トン流れた。現在の激特事業の計画流量は1100トンだが、余裕もあり1400トンは流れると国土交通省は言っている。

部長 対象施設は、障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業所や就労継続支援事業所、自宅等において、物品の製造、役務の提供等の業務を自ら行う障がい者などが対象となる。

質問 水害を防止する治水、内水氾濫対策にはどう取り組むのか。

質問 障がい者就労施設等への仕事の発注や物品等の調達の実況について伺いたい。

部長 今年度策定する雨水対策計画は、これまでの雨水幹線の整備目標の時間雨量を見直し、雨水幹線の整備、ポンプ排水、雨水貯留や雨水調整池、貯留浸透による流出抑制など、地域の特性を考慮し作成したい。

質問 生活保護基準引下げで、他の制度への影響はどうなるのか。

部長 心の悩み等を相談する際の関係機関等を案内する印刷物の発注や施設の清掃業務の委託、市立保育園の給食用のパンの発注を行っている。また、職員に対してはパンやコーヒー等の販売の案内を行うなど当該施設への仕事の発注や物品の調達を進めているところである。

部長 市の制度では、介護保険料や保育料、市営住宅の使用料等の減免制度、教育では準要保護者に対する就学援助制度に影響する。

質問 本市の障がい者就労支援の実況と取組について伺いたい。

部長 就労継続支援事業のうちA型事業所では、市内と市外併せて5事業所で14名が就労し、平均工賃月額8万円となっている。B型事業所では、市内と市外併せて22事業所で168名が就労し、平均工賃月額1万円となっている。就労移行支援事業では、6事業所で13名が就労している。市では、

て伺いたい。

延寿寮に障がい者1名を臨時職員として雇用している。また、知的障がい者の保護者に市内の郵便物の配付作業や緑のカーテン等の業務を委託している。

質問 この他、はだしのゲンの閉架問題、スポーツ少年団の対外試合参加の在り方について質問した。

部長 今回の事案発生原因については、事務処理の二重チェック体制が築けていなかった。事後対応について、適切な判断ができなかったことが原因である。



市職員の服務規程について



岩見 泉 哉

質問 平成25年度になって日田市の職員の不祥事が何回かある。首をかしげるばかりである。服務規程に対する認識と自覚が足りないのではないか。どこかに、これくらいならまあいいかという気持ちがあったのではないか。服務規程について軽く考えてはいないのか。

部長 民間企業は徹底的に行っているのに、法を守るべき公務員が服務規程を守れないのはおかしい。服務規程を徹底的に教育し厳しく指導し、しっかりと管理するべきではないか。服務規程の教育はどういう指導をしてきたのか。

部長 今回の事案発生原因については、事務処理の二重チェック体制が築けていなかった。事後対応について、適切な判断ができなかったことが原因である。

質問 新聞記事になった不祥事は、氷山の一角ではないか。表に出て来ないこともあるのではないか。全ての不祥事は、職員の気の緩みではないか。私は上司の指導不足ではないかと思う。指導者のトップの市長はどう考えているか。今後の指導はどうするのか。

市長 本当に気の緩みで済むかというような問題もあった。私の責任も非常に重いということで、深く反省しているところである。研修の在り方も少し工夫し、この問題解決に取り組んでいきたいと考えている。

質問 職員イコール日田市の顔、もちろん私たちも同じである。もう少し全員が日田市を引っ張って

障害者優先調達推進法の対応について



古田 京太郎

質問 本法律に基づき対象となる障がい者就労施設、事業所につい

いるという自覚を持つてほしいものである。



坂本盛男

検証・原田市政2年について

質問 任期4年の中間点に立った原田市政を検証し、幾つか伺いたい。いっしょに考えん会、出前懇談会の開催に当たり、住民からの意見を庁内でどう集約して調整し、市政に反映させるのか伺う。

市長 選挙公約として、市民参加



スポーツ施設の整備は(大原テニスコート)。

の開かれた市政を掲げ、自ら治める自治の視点に立ち、市民とともに考え、市民の声を直接聞き、アイデアを生かしながら市民と行政が協働したまちづくりを進められるよう取り組みたい。

質問 昨年7月の豪雨災害からの復旧及び夕田橋等の架け替え工事の対策について伺いたい。

部長 道路災害が150件、橋梁災害が5件、河川災害が100件、発注率が92・7%となっている。夕田橋については、国の河川激甚災害対策特別緊急事業に採択されており、国と協議し、下流域側約30mに架け替える計画案になっている。来年10月以降工事に着手し、完成まで約3年掛かる見通しである。

質問 スポーツ振興と施設整備について伺う。

教育次長 本市においては、スポーツの振興を総合的かつ計画的に推進し、平成23年度にスポーツ振興計画を策定し、年次計画による施設の整備に取り組んでいる。要望のある大原テニスコートの増設、補修、ウエイトリフティング場の拡張については、今後、施設整備計画の見直しの中で、検討したい。

質問 この他、住居表示、農政施策について、市長、部長に答弁を求めた。



嶋崎健二

移住・定住の促進策について

質問 市の人口推移は、市町村合併からこの8年間で5300人、年間660人減少している。今の定移住の促進策は十分とはいえず、今後の新たな誘導策が必要だと思いがどうか。

市長 日田の資源や特性を生かした経済雇用対策、教育子育て対策、定移住対策など総合的な取組により、人口減少対策を行っていききたい。

部長 市外への転出先は、福岡県が全体の4割を占めているが、通勤や子育てに関するアンケートを実施しており、どのような支援策が必要かなど把握し、定移住施策に取り組みたい。

質問 上津江、中津江、前津江の3津江においては、合併後人口が25%も減少しているが、国の過疎法の下で策定している自立促進計

画の中に定移住施策をもう少し組み入れて、特別措置法の適用を受けるべきと考えるがどうか伺う。

市長 各種計画の策定や施策、事業の実施に当たっては、これからの人口動向や世代構成の変化などによる影響を前提とした発想の転換を図っていきたい。なお、周辺部への人口誘導等については、財政状況、費用対効果等を十分に考えながら進めていきたい。

質問 地域経済の浮揚活性化に通じていくような産業振興政策について伺いたい。

市長 緑豊かな森林や清流と本市の資源や個性を生かしながら、農林業や商工業、観光業の連携による経済活動の仕組みを構築していきたい。



坂本茂

日田中央公民館について

質問 開館から35年になる中央公民館の生涯学習の拠点としての役割はどのようであったか。

教育次長 開館以来、咸宜大学、子ども会、指導者養成講座、お母

さんの勉強教室など幅広い年代を
対象とした取組を行い、ホールや
ギャラリーは多くの市民の皆さん
にご利用いただいた。市の生涯学
習の発展に寄与し、当初の目的に
沿った役割を果たしてきたと考え
ている。その中で生涯学習の拠点
としての役割も地区公民館やパト
リア日田へ移行している。

質問 中央公民館の今後の役割に
ついて教育長に伺いたい。

教育長 中央公民館と地区公民館
のすみ分けをどうするかが大事で
ある。これからは、次の世代にと
うつないでいくかを考えてもらっ
ような育成の場が必要である。

質問 市長が描いている中央公民
館の改修とは。

市長 老朽化した博物館や美術品
の管理等の問題を解決するため、
中央公民館をそれらに対応できる
施設に改修する案である。



質問 空き家の現状について伺う。
部長 今年の6月から7月にかけ
てアンケート調査を行った。
1018棟の空き家が存在する。

質問 補正予算の実態調査事業の
内容と調査期間について伺う。

部長 10月から来年2月までに調
査資料を基に現地調査を行い、台
帳を作成する。同時に電子地図に
情報を落とし、共有化を図る。

質問 今後の取組について伺う。
部長 空き家の状態を見ながら、
方向性が決まってくるようになる。



吉田 恒光

2年後の振興局の機能・規模は？

質問 日田市の周辺部では、人口
減少、高齢化、災害対策など多く
の課題を抱えている。特に、振興
局の役割は重要だが、今後の機能・
規模をどのようにするのか伺う。

市長 第4次行政改革大綱には効
率的な組織、機能の構築を推進す
るとあり、全庁的に組織、機能の
見直しに取り組みたい。現在、事
務事業の内容や事務量の精査等を行
い、事務の移管や統合が可能か



今後の振興局の機能・規模は。

検討を行うことにしている。

質問 行政からの押し付けでなく、
地域住民の意見を尊重し、地域審
議会で議論し、お互いが納得した
上で、振興局の役割を議論するこ
とを提案したい。

市長 振興局組織の見直しが大規
模となる場合については、地域審
議会に説明を行っていききたい。

質問 市民の安心・安全を守る交
通指導員の活動状況を伺う。

部長 現在58名の交通指導員が一
年間に約90日間程度、交通安全活
動にご尽力いただいている。

質問 豊後大野市や日出町では、

退職金制度がある。日田市でも創
設する考えはあるのか伺う。

部長 現時点では考えていない。
指導員のご意見や県下の動向も注
視して参りたい。

市長 市民が市民による自立した
自治を創っていく活動の中では、
指導員は必要であり、議論したい。

質問 日田市での原木や木材製品
の海外輸出の現状を伺う。
部長 日田材の新たな需要を求め、
中国、韓国における市場調査やP
Rを行っている。昨年度は韓国に
1500万円分の製品を輸出した。



権藤 清子

不妊治療助成事業について

質問 4月から不妊治療助成金が
半減された。半減された分を市で
助成できないか。また、年齢制限
が43歳未満となったが、元に戻せ
ないか伺う。

部長 実際の費用と助成単価を勘
案し、公平性を図ったものだから
補助する考えはない。市の補助で
は年齢制限を設ける予定はない。

質問 子育て支援策として、不育

症にも助成金制度を設けることはしないのか伺う。

部長 助成制度を設けている市があるが、助成には至っていない。

今後、必要かどうか検証していく。

質問 介護保険で要支援1・2の認定者を保険給付から外す制度改定についてどのように考えているか伺う。

部長 市町村独自の事業となれば、元気な高齢者による社会活動が活発になることにより、高齢者がサービスの担い手となり、また、ボランティア等の活動が展開されることが期待される。

質問 自治体の判断になると市はどこまで責任を持つのか伺う。

部長 要支援1・2の方がサービスを受けられなくなるものではない。市町村が事業を継続して、独自に実施していく内容である。保



険給付から外すということであれば、第6期の老人保健福祉計画を策定する中でいろいろ検討する。

質問 要支援1・2の方は介護予防のためではなく、生活支援が必要のためにサービスを利用している。ボランティアでできるのか。

部長 ボランティアについては、新たに検討する必要がある。



日隈 知重

田来原公園の見直しと乾しいたけ生産の支援

質問 田来原公園で、高性能測定機器を入れた健康づくりを行うことは取りやめた。公園整備は森として再生することではないか。

市長 森に戻すという作業、そういったことを学ぶ学習の場として、あの場所（田来原）を使いたい。

質問 九州オルレの中継点にふさわしいトレッキングコースとして整備すべきではないか。

市長 安全に歩ける小道は必要。奥日田観光開発として計画したい。

質問 芝刈りと草集めに毎年500万円も掛けるグラウンドゴルフ場整備は、やめるべきではないか。

市長 以前の公園整備計画の中のもの。抜本的にデザインを見直す。

質問 乾しいたけ市場価格は、生産原価を大きく割り込む平均2000円台まで暴落。主な原因は福島原発事故の風評で、放射能汚染に関係ない大分県産の価格にも影響している。乾しいたけ生産者への支援策を検討しているか。

部長 県は、市が1本のほだ木に20円以上補助すれば、県が10円以内を補助する緊急支援事業を計画している。市が既に実施している種こま購入補助と補助条件が違うため、県の制度に合わせてやって



乾しいたけ生産者への支援策は。

いく方向で検討している。

質問 おおやま夢工房の赤字が3900万円。原因は、どこにあると考えているか。

部長 昨年7月の九州北部豪雨で来客数は、3万6000人減となった。これ以外にも、梅酒の過剰在庫。水辺の郷レストランが団体客の減少で400万円の損失。抜本的な改善が必要と分析している。



居川 太城

放課後児童クラブについて

質問 放課後児童クラブの受入れ状況と今後の活用について伺いたい。

部長 16地区17か所で設置し、57名の児童の受入れを行っている。活用については事業計画の中で、ニーズを踏まえ計画していく。

質問 現場で働く指導員は充足しているのか。

部長 指導員については充足している。

質問 国の職務改善として保育士の賃金上がる予定だが、指導員



の賃金についてはどうか。
部長 我々も職務改善を求めているので、国からの改善を期待したい。

質問 市には独自のクラブガイドラインがあるが、受入れについてこれに対して何か問題などはあるのか。

部長 クレーム等の報告は受けていないが、待機児童がいることは報告を受けている。今後の検討課題である。

質問 現在のガイドラインにある受入れ対象児童については曖昧な所がある。他市では明確に記載されている。国から下りてきた要綱を地方に当てはめると、どうしてもその差のところで、あふれてしまう児童が出てしまう。そのことを加味して市長に答弁を願う。

市長 そのような実情があるなら再考しなければならない。実情に

どう対応していくかを考えるべきである。

質問 この他、ウェブを生かした情報発信について質問をした。



森山 保人

市職員の資質の向上策は？

質問 市民が求める質の高い行政サービスを提供するための、市職員の資質の向上策について問う。

市長 日田市人材育成基本方針を今年度中に作成し、方針に基づきより効率的な職員研修を行い、職員個々が日々の業務を正確に実行する職場風土の構築に努め、資質の向上を図りたい。

質問 現在の勤務成績の評定の仕方と結果の活用方法は。

部長 勤務成績の評定は課長以下を対象に、1月の昇給に合わせ年1回12月に、上司が9項目（係長以上は10項目）を5段階で評定し、勤務成績や能力を正しく把握し、昇給昇格に反映している。

質問 今後の人事評価システムの導入の見通しについて伺う。

部長 任用、給与、分限、その他

の人事管理の基礎となる手段で、人材育成や活力ある組織の実現、効率的な行政運営に資するもので、先進自治体での事例などを調査研究して導入に取り組む。

質問 市民がまちづくりを推進するための情報提供の充実方策は。

部長 広報、ホームページ、ケーブルテレビと、市役所1階の行政資料コーナーを活用している。

質問 市民の意見募集のためのパブリックコメントの有効活用は。

部長 これまで多くの計画や条例についてパブリックコメントを実施したが、なかなか意見が寄せられていない。今後は公表の仕方を見直し、市役所の3日以内窓口や振興局、振興センターの目に付きやすい場所に配置し、意見書も備えて付けて閲覧できるようにする。



飯田 茂男

市税条例に教育上の配慮を指摘

質問 7月末から開催された高校総体の選手等の宿泊に対し、市は入湯税を徴収した。他自治体と同様に課税免除の措置を行えるよう

ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。9月定例会の会議録は、12月上旬から閲覧することができます。

条例の見直しを行うべきではないか。

部長 現行の市税条例では、課税免除規定に該当しないとの判断から徴収したが、今後、高校総体と同様の大会に伴う宿泊等については、学校教育上の配慮から課税免除を行うよう規則等を整備したい。

質問 直営とした葬斎場に対し、以前の指定管理業務委託時との比較で、庭園の荒廃や経費の増額について、市民の指摘や疑問の声を聞く。これらについて説明を伺う。
部長 庭園管理、除草業務は、これまでの指定管理による管理仕様



高校総体などの大会には教育上の配慮を。

や作業実績、造園業者の助言を参考に委託契約を締結したが、今後は、委託業者と適宜協議を行い、現状に即した作業を実施したい。経費は約465万円の増額。その主な要因は火葬業務員の増員である。近年、火葬件数が年間1000件増加したため1名を増員、また、守秘義務を伴う受付業務等に関する臨時職員2名を交代制で配置したことから人件費が増額となった。

質問 市内中心部に獣肉処理施設の設置を求める声がある。猪、鹿捕獲推進のため増設はできないか。

部長 処理施設は、旧市内からは

幾つもの窓口で行う手続を、可能な限り一つの窓口で終わらせるワンストップ化はできないか。

部長 利用が多い市民課や税務課、福祉部門を1階フロアに集約し、利便性の確保に努めている。ワンストップ化は、他市の状況調査等を行うとともに、引き続き市民ニーズの把握に努めていきたい。

質問 ワンストップ化が無理なら、せめて接客のプロをフロアマネージャーとして配置できないか。

市長 接客のプロを雇用することは、一つのサービスだとは思いますが、接遇研修等を進めている。職員全員がそういう気持ちでお客様

市民満足度向上について



田邊 徳子

遠方だが、捕獲個体の引取りを希望する場合は、施設側が捕獲場所まで引取りに伺うことで、遠方からの搬入に対応しており、新たな処理施設の増設は考えていない。

質問 この他、小中学校の学力水準と学力向上の取組を質した。

をお迎えする体制づくりを強力に進めていきたい。

質問 お盆休みのごみ収集は一回だけでも収集してもらえないか。

部長 現状の委託業者の勤務状況からしても、また、清掃センターの焼却炉の点検も、この休みに実施しており収集は難しいと思う。

質問 お盆明けのごみの量はとても多く、特に今年の暑さで生ごみの腐敗はひどく、また、臭いもすごく、うじが湧いている生ごみもあり、収集する方も大変だと思う。生ごみだけでも収集できないか。

部長 委託業者と協議は行っているが、人員配置の問題、委託料への影響等も考えなくてはならない。

質問 ごみ袋の代金はどのような形で使われているのか。

部長 ごみ袋の売上代金は、ごみ処理経費の約7.7%を賄っている。

質問 この他、羽田多目的交流館、消防車両について質問した。



議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。

車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。

本会議のテレビ中継

一般質問は、水郷TV（市情報センター）及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。

報 告

各委員会の
議案等の審査結果

● 総務委員会 ●

日田市民文化会館の設置
及び管理に関する条例の
一部改正案を継続審査

日田市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正は、市が直接運営を行っている日田市民文化会館（パトリア日田）の管理を指定管理者に行わせることができるよう、所要の措置を講ずるものであり、平成26年度からの導入を計画しているものである。種々検討を行ったが、今少し調査研究を行いたいとの意見が多く出され、継続審査とした。審査の中では、「市が担うべき芸術文化の創造や人材育成等の施策を、どのように実施していくのか、明確に示されていない」「市の文化施策に対す

る責任を明確にする意味でも、更に議論を行う時間が必要である」との意見や、「日田市民文化会館運営委員会の答申では、指定管理者が実施する事業は、パトリア日田の活性化計画に基づき行うことなど5項目の条件が付されており、制度の導入で、これまで以上の事業推進が期待できると思われる」などの意見があった。

平成25年度日田市一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ4億7041万7000円を追加し、補正後の予算総額を407億2968万1000円とするものである。歳入の補正は、社会資本整備総合交付金及び災害復旧事業に伴う国支出金、市債の増額並びに臨時財政対策債の確定に伴うものである。歳入の補正は、地方税法の

一部改正による市税滞納整理システムの改修委託料及び落雷による防災行政無線の修繕料等が主なものであり、原案のとおり可決した。

● 教育福祉委員会 ●

保育士等処遇改善臨時
特例事業予算などを可決

平成25年度日田市一般会計補正予算は、以下の意見・要望を付し原案のとおり可決した。

保育士等処遇改善臨時特例事業は、保育士等の処遇改善として県の補助金を活用し、現行の民間施設給与等改善費を基礎に、勤続年数に応じ更に1%から4%の上乗せを行い、保育士の人材確保対策として、更なる給与等の改善に取り組む予定の私立保育園など17園



中央公民館を複合文化施設に。

に対して補助金を交付するものである。その処遇改善が図られたか否かについては、各園に保育所職員処遇改善実績報告書の提出が義務づけられているが、確実に保育士等への処遇改善が図られるよう申し添えた。

中央公民館施設整備事業の補正は、中央公民館の大規模改修事業に併せて、博物館、美術品収蔵庫及び展示ギャラリーの機能を兼ね備えた複合文化施設の整備に伴う、プロポーザル方式での審査を実施するためのものである。施設整備のプロジェクトチームを設置後、

検討経過の報告を求めていたにもかかわらず、報告がなかったことについて指摘し、今後においては、事業経過について逐次議会に報告を行い、意見を求めるよう強く付言した。

● 経済環境委員会 ●

ウッドコンビナートの土地貸付け条例の制定と補正予算を可決

ウッドコンビナートの土地貸付け条例は、土地開発公社の解散に伴い、新たにウッドコンビナート内の土地の貸付けを行うことで、企業立地を促進するものである。

土地の貸付期間は10年以上30年未満で、貸付料は市有財産台帳価格の3%を年額で定める。委員会は、この条例の制定により、安価な土地の貸付制度で企業が入団できるようになることから、積極的な企業誘致に努めるよう市に要望し、原案のとおり可決した。

分担金徴収条例の一部改正は、小規模給水施設支援事業における地元負担金の割合を10%から5%に軽減するものである。委員会は、水道整備が困難な小規模集落の水問題を解決する事業であることか

ら、計画に沿った予算の確保に努めるよう要望し、原案のとおり可決した。

平成25年度日田市一般会計補正予算のうち、経済環境委員会が審査した部分は、流水被害森林緊急整備事業1206万円、プレミアム商品券発行支援事業3250万円、農地及び農業用施設市単小災害復旧事業約1億1714万円などで、原案のとおり可決した。

プレミアム商品券発行支援は、昨年の災害復興支援を除き平成21年度から23年度の3年間で5回、集中的な景気対策として実施したことから、いったん休止した事業である。審査の中では、「市内の消費拡大や商店街の活性化などの事業効果が見えにくい」との意見もあつたことから、事業効果の検証を十分行うよう要望した。

● 建設委員会 ●

一般会計補正予算を可決

平成25年度日田市一般会計補正予算は、国庫補助金の交付決定に伴う事業費の増額や、昨年の九州北部豪雨等に係る災害復旧費の増

額並びに本年の梅雨前線豪雨等に係る災害復旧費の増額が主なものであり、次の意見・要望を付し、本案は原案のとおり可決した。

空き家実態調査事業については、6月から7月にかけて実施した「空き家アンケート調査」において把握した市内の空き家1018棟(旧市内755棟、旧郡部263棟)の劣化状況や周辺への影響等を把握するための実態調査及び台帳作成などを行うものであり、審査の中では、今後の空き家対策として、将来的には空き家に関する条例制定の必要性があるのではないかと意見が出された。

道路維持費の道路ストック総点検事業については、国の追加配分に伴い、新たに道路291基、橋梁30基、合わせて321基の照明施設の点検調査を行うものであり、歩行者及び車両の安全な通行を確保するため、老朽化した道路照明施設等については早急な改善を図り、道路の維持管理には万全を期すよう要望した。

友田大原公園緑地改築事業については、用地及び建物等補償の交渉には積極的かつ誠意をもって臨み、計画年度内の事業完了に向け遺漏

のないよう要望した。

公共土木施設災害復旧事業については、早期の復旧・復興が切望されていることから、迅速な工事発注・事業着手に努め、一日も早い事業完了となるよう要望した。



第4回定例会議事日程

次回(12月)定例会の議事日程案が、次のとおりとなりました。

なお、正式な日程は、11月25日(月)開催予定の議会運営委員会で決定します。

- ・ 11月29日(金) …… 開 会
- ・ 12月6日(金)、9日(月)
- 10日(火) …… 一般質問
- ・ 12月11日(水) …… 議案質疑
- ・ 12月12日(木)、13日(金)
- 16日(月) …… 各委員会
- ・ 12月18日(水) …… 閉 会

意見書

第3回定例会では、次の意見書
を採択し、国の関係機関に送付し
ました。

●「地方税財源の充実確保」を求
める意見書

地方財政は、社会保障関係費な
どの財政需要の増加や地方税収の
低迷等により、厳しい状況が続い
ており、基礎自治体である市が、

住民サービスやまちづくりを安定
的に行うためには、地方税財源の
充実確保が不可欠であることから、
政府に対し、地方交付税の増額に
よる一般財源総額の確保と、地方
税源の充実確保等について取り組
むことを求めるもの。

●「森林吸収源対策及び地球温暖
化対策に関する地方の財源確保」
を求める意見書

地球温暖化防止をより確実なも

虚礼廃止にご理解ご協力を!

公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A

Q 議員が、従来から慣行として行われているお歳暮、
お年賀などを選挙区内の市民に対して贈ることが
できますか。

A 親族に対して贈る場合を除き、寄附に当たりますの
で、禁止されています。

Q 議員が、選挙区内の市民に対して、年賀状を出すこ
とができますか。

A 親族に対して行う場合及び答礼のための自筆による
ものを除き、禁止されています。例えば、パソコン
や裏面印刷による年賀状は、自筆によるものと認め
られませんが禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や運動会などで、寸志・ご
祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・病気見舞
い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていること
であっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反と
なります。

のとするためには、森林吸収源対
策や再生可能エネルギーの活用な
どの取組を、山村地域の市町村が
主体的・総合的に実施することが
不可欠であるが、これらの市町村
では、木材価格の低迷や林業従事
者の高齢化、後継者不足など厳し
い情勢にあり、森林吸収源対策な
どの地球温暖化対策に取り組むた
めの恒久的・安定的な財源確保を
講じることが急務であることから、

「石油石炭税の税率の特例」によ
る税収の一定割合を、森林面積に
応じて譲与する仕組みの構築を求
めるもの。

教育委員会委員

次の方を教育委員会委員に任命
することに同意しました。

田島 みき 氏 (中津江村)

人権擁護委員

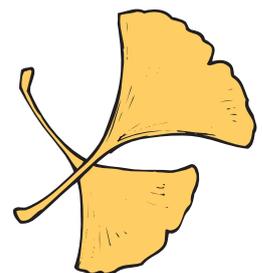
次の方を人権擁護委員に推薦す
ることに同意しました。

高倉 善次 氏 (天瀬町)

編集後記

今年、全国各地で台風や
竜巻の被害が報道され、その
たびに心が痛みます。誰もが
気象の変化に危機感を持つよ
うになりました。今年はこの
ところ日田市では、大きな災
害は起きていませんが、市民
の不安を解消できるよう努力
していくことが求められてい
ます。そのためにも地域のつ
ながりを強めていくことが望
まれます。日田市も高齢化が
進み、人口が減少しています。
市民が安心・安全に暮らすこ
とができる行政となるよう議
会も活発な論議を行って参り
ます。

(権藤 清子)



◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎08214)へ。市議会だよりは、古紙再生紙を使用しています。また、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。